



町長室へようこそ No.123

〔消防100周年式典と滝上高校閉校式〕

今年は滝上町にとって節目の行事が多く、9月30日には消防100周年記念式典が挙行されました。

歴史を振り返ると滝上町は基幹産業である林業・林産業が盛んであるがゆえに木工場の火災も多く、古くは昭和26年、道内屈指の規模と施設を備えた濁川北見合板木材（旧太田ベニヤ製造所）の大火です。また昭和61年の濁川の経木工場の大火、夜空を焦がす炎は山を隔てた隣町からも見え、寝食を忘れ消火に努めた消防団の活動、紋別消防本部からの応援など、記憶に新しい大火でした。

近年、火災の発生は減少していますが、気象災害や地震が頻発し、むしろ消防の役割は高まっていることから、仕事をしながら町民の生命財産を守るため日夜訓練に励んでいる消防団員の役割はますます重要です。

これまでの歩みを振り返り、滝上消防の礎を築かれた先人に敬意を表し、地域防災への誓いを新たにしました。

10月7日の滝上高校閉校式典には台風崩れの雨が残る中、260名もの卒業生をはじめ元教職員、地域の方々など閉校式では類を見ない460名を超える出席者がありました。70年の歴史をもつ滝上高校を築立って、全国各地で活躍されている卒業生は3,600名になりますが、遠く道外からの参加者も相当数あり、閉校に淋しさや残念な声が聴かれる一方、それ以上に母校を慕う気持ちと多くの思い出にありがとうや感謝の言葉があり、ふるさとへの愛着が伝わってきました。祖父が滝上で教鞭をとっている時に父が元町で生まれた宮

澤校長は、「閉校が決まっていた滝上高校に赴いたのは天命、全教職員が全力を挙げて生徒たちに有終の美を飾らせてあげたい」と常々語っていました。生徒たちもこれに全力で応え、先輩たちから引き継ぐボランティア活動では、高齢者宅の窓ふきや除雪、芝ざくら滝上公園の除草や植栽に汗を流し、昨年「ラストプロモーション」となる修学旅行での苗の配布には、私も京都に同行し、生徒が滝上町のPRに声を張り上げながら市民の皆さんに配る姿に感動した一人です。数々の活動を認められこれまで道の善行表彰、厚生労働大臣表彰、滝上町善行表彰等の栄に浴しています。

式の最後、14人が将来の目標をしっかり述べた中に、町に帰ってきてカフェを開くから遊びに来てほしいとか、婦人警官になって、もし交通違反で捕まったら素直に認めてほしいなど、ともすると重い雰囲気になる閉校式を和ませる言葉に、大人では中々できないすごい生徒たちだなと感動さえ覚えました。

感謝の会では、懐かしい同級生や恩師との歓談に終始盛り上がり、閉会に気づかず時間が過ぎるなど、心に残るすばらしい式典と会でした。最後の滝高生となる皆さんには、多くの先輩のように滝上高校で学び会得した貴重な経験を土台に、これからの社会で大いに活躍してほしいと願うものです。

滝上町長 長屋 栄一



◇町長へのメールアドレスは tyoutyou@town.takinoue.hokkaido.jp です。

10月										9月									
14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	5日	1日	30日	29日	28日	27日	25日	23日	21日	19日	18日	
滝上小学校学芸会	芝ざくら植栽会、北海道高知県人会連合会役員会	職員採用試験、見積合わせ、町長訓示	第4回全国木のまちサミット2018 in つべつ(津別町)	100歳を祝う会(網走市)	オホーツク町村会農林水産委員会(網走市)	秋歩こう錦仙峡セレモニーの会	滝上高等学校閉校記念式典・感謝の会	収穫機美演会	第46回高齢者スポーツ大会、南瓜回収機美演会	オホーツク町村会平成30年度第1回行政特別委員会(網走市)	旭町ふれあい昼食会	平成30年度第1回紋別地区消防組合臨時会(紋別市)、決算審査特別委員会総括質疑、滝上高等学校閉校記念事業視察研修旅行報告会	会	滝上高等学校芝ざくら植栽ボランティア	網走西部森林管理署西紋別支署長送別会	滝上中学校第45回学校祭、第21回滝上町商工会会員親睦パークゴルフ大会	滝上町敬老会、100歳記念品贈呈	平成30年度第1回滝上町表彰審査委員会	工事入札

町長の主な動向(9/16~10/15)